

●深泥池の底生生物調査 8月11日

子供たちにとって夏休みは、日ごろ自然と触れ合う機会が少ない中で、植物採取や昆虫採取などに取り組める貴重な季節です。こうした子供たちにとって天然記念物がある深泥池は魅力いっぱいあふれたところです。この日は京都大学を退職された竹門康弘 元教授が長年調査研究されてきた実績を生かし、集まってきた子供と親たちとで、魚や池の底生生物を採集して、生き物たちの確認をしました。今年はとりわけ暑い夏で、京都市内は猛暑の連続で熱中症が心配されましたが公園には木陰があって、学習するには良い場所でした。この日は京都産業大学教授の鈴木康久氏や京都府自然環境保全課の平野氏や深泥池の研究者の塩谷さんなどがおられました。里山の会からは安岡さんと山村が参加しました。深泥池の湿地であったところが一部干しあがり、陸化を始めていました。先生の説明では溶存酸素が枯渇するなどの変化により、生き物にとっては環境の大変化も続いているとのことでした。

●台風7号近畿直撃か 8月14日

6号が日本海に抜けたと思ったら続いて7号が非常にゆっくりしてスピードで日本に向かってきました。それも一気に北上するのではなく自転車なみでしたので随分気をもませました。14日の夕方、潮岬に上陸するころから進行方向が変わり、京都府しかも京田辺附近に台風の中心が通過するだろうとのことでしたので、大変心配しました。それが西にコースが変わり、夕方明石に再上陸するとのことになりました。その後、鳥取県などでは線状降水帯が発生して川の増水やダムからの流入量を放流するなどの事態が発生しました。山城地方では流れ橋が流れることになりました。前回橋の流失までは1200トンで浮き上がる状態でしたが、補強されましたが、今回はそれを上回る量になっていたのです。この流れ橋の流失の流量では京田辺市の田辺公園や草内公園は完全に冠水してしまっていることになります。大きな災害になりました。

●第26回 里山環境講演会 9月2日

夏休みに入る前に京田辺市立小学校の全生徒4000人に案内チラシを配布いたしました。16日現在60人程度の親子での参加申し込み状況となっています。3月の講演会では206人がお越しになっていただきましたが今回9月の講演会はいささかさみしい取組状況となっています。今回(26回目)の講師の先生は湯本貴和先生で、京都大学の教授をされており、日本生態学会の会長を永年務めてこられました。また自身は東南アジアやゴリラ、チンパンジーの研究をされてきています。多くの生き物のつながりを見つめてこられました。いま日本・京都の自然に目を向けたお話が楽しみです。このようなお話はワクワクする楽しいものだと思います。こんな機会はそんなに訪れる物ではありませんから、この機会にぜひお越しください。お待ちしております。会場＝京田辺市草内 中部住民センター(セセラギ)大ホールなど貸し切りで準備しています。9月2日

(土)13:00～14:30 駐車場あり 近鉄京都線：新田辺駅下車 東方向へ徒歩15分

●竹サインペンの製作進む

去年の(2022年2月)に竹嶋修二さんの手作りで製作を試作してもらって以来、試行錯誤して漸くの事、竹割機の試作が、そして削り機の準備が不十分ながら整えられてきました。そして1000本の製品を目標に9月には完成を口にできるところにたどりつくことが可能になってきました。台風7号襲来直前に用意できた自動鉛筆削りに代わり、手動式の削り機が手に入り、これで何とか作業が開始できる計算が立ち始めました。ここまでの到達には木下勉さんや竹嶋修二さんの粘

り強い取組がありました。現在のところは荒削りの製品ですが、見たところサインペンとして用をなすところまで来たといえます。まだまだ改良に改良を重ねなければなりません、第一段階としては作れる可能性が整ってきたのではないのでしょうか。週刊ニュース 1000 号の記念品として、皆様にお届けできるのを目標に迫い込みにかかろうと思っています。続いてはこの竹サインペンの果たす役割を分かりやすく説明できるチラシの作製を作り上げることです。皆様のお知恵と腕をお借りできるようにお願いします

9月2日(土)13 時～京田辺市中部住民センター

(セセラギ) 駐車場あります

第 26 回学習講演会 ご案内

講師：湯本貴和さん 日本生態学会前会長

京都大学名誉教授 京都生物多様性センター長

地球上の生き物は、色も形も大きさも、暮らしぶりも様々です。熱帯雨林を研究しながら 日本・京都の自然に目を向けた講演です。誘い合ってお越しください。

湯本貴和さんの講演から 生き物がかわりあって生きる生き物の面白さを学びましょう。**皆様のお越しをお待ちしています。**

- 子供たちにはコマづくりなどをします。
- 参加者全員に両手で挟んで回すコマを色塗りして大人も子供も一緒に楽しく回しましょう。
- ボルネオの空を飛ぶフタバガキの種を工夫して作ります。
ゴムの力で種を打ち上げると、クルクルと回って落ちてきます。
- 南面さんの動物作品展示は、今にも動物が動き出しそうな動物作品がいっぱい びっくり必須です。海外でも好評です。
- 子供たちの生き物の発表もあります。

主催 NPO やましろ里山の会 0774-64-4183

後援 京田辺市 自然環境保全京都ネットワーク